

(別添7)

事業所名 清静園指定認知症対応型共同生活介護事業所

2 目標達成計画

作成日: 令和5年11月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 13 | 認知症についての理解は、日々の対応の中で必然的に身につけていくものである。日々の変化への対応に課題がある。 | 認知症への理解を高め、日々の変化に気づくことができる。 | 認知症に特化した事業であり、認知症への理解を深めるよう、会議や日々の業務の中で資料を交えた周知を図る。また、「いつもと違う」という視点を持ち、日々の変化に気づけるよう職員同士で連携していく。 | 12ヶ月 |
| 2 | 17 | 入居直後は本人も職員も慣れておらず、対応に困惑することがある。 | 入居開始からの本人の様子や、入居以前の生活を理解したうえで、本人が安心して生活を送れる環境を整える。 | 経験と知識を加味しつつ、本人の特性を早急に且つ正確に理解する為にも、職員の対応とその結果を共有し、本人が困惑する期間を最小限にとどめられるよう、連携を強化する。 | 12ヶ月 |
| 3 | 41 | 3食を介護職員が調理し提供している。各主治医より栄養面に問題はないようであるが、バランスや彩り等に不安がある。 | 一日を通した食事の内容を栄養摂取面から考え、献立に反映する。 | 各種情報ツールの活用や、施設栄養士に助言をもらうことで、栄養バランスの見直しを行う。 | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。